



令和6年度 みなべ町立南部中学校スクールプラン

教育目標

町の教育目標

- ① 確かな学力の育成
- ② 豊かな人間性の育成
- ③ 健やかな体の育成
- ④ 魅力ある学校づくり
- ⑤ 家庭への助言と支援

地域を愛し、多様性を尊重するとともに、しっかり学ぶことができる生徒を育成する。

研究テーマ

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- 「豊かな心」を育み、人間性豊かな生徒の育成

求める生徒像

- ① なかまを大切にし、自分を正しく見つめる生徒
- ② なかまと共に考え、解決しようとする生徒
- ③ 根気強く目標に向けて努力する生徒
- ④ 将来を見通すことができる生徒
- ⑤ 南部中学校とその校区を愛する生徒
- ⑥ お互いの良いところを認め合える生徒

前年度の学校評価

- 生徒はいろいろなことに、前向きに取り組んでいる。
- 授業の中で地域住民との協働ができて良かった。今後の継続していきたい。
- 講演会等への参加する保護者の人数は減ってきている。保護者と学校との関わりを増やすことも必要ではないか。
- ふるさと学習、ボランティア活動にもっと取り組ませたい。

保護者・地域の願い

- 思いやりを持って行動できる人になってほしい。
- 困難に立ち向かえる強い心を持った人になってほしい。
- 学習意欲を向上させてほしい。
- 何事にも主体的に取り組むことができるようになってほしい

生徒の実態

- 素直で明るく真面目であり、心優しい生徒が多い
- 指示待ちで意志が弱く、周りに流されやすい面もある。
- 対人関係の弱さや基本的な生活習慣が身についていない等個別の課題を抱えている生徒が増加している。
- 学習面に課題のある生徒が増えている

確かな学力の向上

基礎基本の習得と活用

主体的に学習する生徒

対話を取り入れた授業改善

- ・ペアワーク、グループワーク等の対話を取り入れた授業
- ・「和歌山の授業づくり基礎・基本の3か条」の徹底とTT指導や少人数指導等による効果的な授業の工夫
- ・教科部会での教員の学び合い
- ・ICTの積極的な活用による授業展開(ギガスクール)
- ・他校への授業参観と協議
- ・保護者と連携した家庭学習の充実
- *主体的に学習している。(生徒:80%以上、昨年度67%)
- *生徒がわかりやすい授業をする。(生徒:85% 昨年度80%)
- *家庭学習にしっかり取り組む。(生徒70%以上、昨年度52%)

豊かな心の育成

道徳科の授業の充実

人権意識の高揚

自己肯定感の高揚

- ・道徳科の研究授業と研究協議の充実
- ・多様性を尊重する意識の醸成
- ・教育活動全体を通じた道徳教育や人権教育の推進
- ・学校行事等において仲間意識を高め人権意識の高揚を図る。
- ・学校運営協議会と連携した取組による自己肯定感の高揚
- ・いじめアンケート アセスの実施と分析・活用
- *道徳科の授業研究を継続する。
- *いじめ解消率100%
- *学校が楽しいと感じる。(生徒:90%以上 昨年度83%)
- *お互いの良いところを認め合える。(生徒:90% 昨年度91%)

健やかな身体の育成

体力の向上

健康の保持増進

自他の安全

- ・基礎体力作り(保健体育・部活)
- ・体力テスト マラソン大会の実施
- ・食育の推進(給食指導の徹底・梅干しの推奨)
- ・基本的な生活習慣の確立(保護者への働きかけ等)
- ・救急救命講習、交通安全教室の実施
- ・避難訓練(地震津波・不審者対応)の実施
- *規則正しい生活をしている。(生徒:80% 昨年度76%)
- *校内外の体育活動に積極的に取り組んでいる。(生徒:80%以上)
- *体力テストの結果を前年度より向上させる。

地域との連携

コミュニティスクール

PTA活動の活性化

開かれた学校づくり

- ・学校運営協議会の取組による地域との積極的な連携・協働
- ・ふるさと学習を充実する。(道徳科での地域教材の開発)
- ・PTA活動との連携(街頭指導、環境整備作業、人権講演会等)
- ・積極的な学校開放(授業公開、学校行事等)
- ・関係機関との連携(教育相談、ケース会議、夜間巡視等)
- ・学年通信等による情報の発信
- ・学校運営協議会便りの発行
- *学校の様子をよく理解している。(保護者:90% 昨年度68%)
- *ふるさと学習についての評価。(保護者:70% 昨年度63%)
- *学校運営協議会の活動を理解している。(保護者80% 昨年度55%)